

**——最初に、皆さんが渋吹に入団したきっかけを教えてください。**

中島：僕はもともと小学校で合唱部に入っていて、楽器を演奏したことはありませんでしたが、小学校6年生の時、掲示板で渋吹のポスターを見かけて入りました。

木崎：私は幼稚園の頃からピアノをやっていて、兄もピアノやバイオリンをやっていたので、小さい頃から音楽に興味がありました。友達に渋吹の存在を教わって、一緒に入団したのが始まりです。

甲斐：同じ小学校の先輩が渋吹で活躍していて、誘われてクリスマスコンサートを見に行ったことがきっかけです。鼓笛隊で打楽器を経験していましたこともあり、見ていて興味が湧いたので、入ってみようと思いました。

# 年代を超えて学び合う、渋谷区の青少年吹奏楽団。

小学校5年生から高校3年生までが集う「渋谷区青少年吹奏楽団（通称：渋吹）」。今回は、渋吹に所属する子どもたちや、講師、育成会の皆さんに、活動40周年に向けての思いなどを伺いました。

**——渋吹の魅力は、どんなところですか？**

藤井：多くの人と関わることができるところではないでしょうか。音楽を通して、人との関わりなどから多くを学べるところ。私たちはいつも「渋吹は個人の習い事ではなく、楽団というチームだ」ということを子どもたちに話しています。いろいろな人がいる中で、このチームの良さをどう高めていくか。まさに渋谷区基本構想の「ちがいをからに」と一緒に思いますね。

石井：僕はもともと渋吹の5期生として入団し、卒団してからも演奏のお手伝いをしていました。渋吹は、団員だけで活動しているわけではなく、講師や地元の人など、多くの方に応援されて成り立つ

※紙面に掲載している情報は、29年5月1日現在のものです。



ています。その応援のパワーは大きいのではないでしょうか。

中馬：そうですね。本当に、地域の方の応援はとても心強いです。街を歩いていると、「この前の演奏よかったです」「次はいつですか？」と声をかけていただけるんです。子どもたちもそれを励みに頑張っています。地域の方に愛されているというのは、渋吹の大きな魅力の一つだと思いますね。

佐藤：最初は小学生でついてくるのがやっとだった子が、中学・高校と進学して先輩になって、後輩たちに運営や演奏を指導している時ですね。

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しぶや区ニュース（10分間）  
月～木 11:00/16:00/21:50

「しぶや区ニュース」の情報を発信します

渋谷隣人祭り（45分間）  
火 11:10

渋谷区で活躍する人たちが登場します

ラジオ しぶや区ニュース（区長の部屋ほか）（10分間）  
金 11:00/17:00/19:50

長谷部健 渋谷区長が出演する場合もあります

広報コミュニケーション課広報広聴係（☎3463-1287 FAX 5458-4920）

教えてくれたので、クラリネットの楽しさを知ることができます。今は毎週の活動がとても楽しいです。

中島：小学校5年生から高校3年生までの児童や生徒がいて、素晴らしい先生方やOBの方が指導に来てくださって、区のイベントや演奏会にも参加できる。とても恵まれた環境だと思います。なかなかできない経験がたくさんできてよかったですとあらためて思っています。

木崎：私は高校で吹奏楽部に入っていますが、この高校を選んだのは、渋吹の練習日である水曜日に、吹奏楽部の活動が休みだからという理由です。それくらい週に一度の渋吹での活動は楽しくて待ち遠しくて、渋吹のことが大好きなんです。

**——学校も学年も違う児童や生徒たちをまとめるのに、気をつけていることはありますか？**

木崎：小学生にとって高校生ってすごく大きく見えて、どう話したらいいかわからない存在だと思うんです。私自身もそうでしたし、気持ちがわかるので、なるべく同じ目線で話すこと、学年に関係なく同じ話題で笑い合うことを大切にしています。

中島：年齢も学校もバラバラだけ壁がない。そういう土壤が、もともと渋吹にはできている気がします。僕が小学生で入った時も、中学生も高校生も先生も、みんな気軽に話しかけてくれました。それと同じことを僕らもしているだけ。そうやってずっと続いている渋吹の「当たり前」が、アットホームな環境を作り出しているんだと思います。

**——渋吹に入ってよかったと思うことはどんなところですか？**

寺尾：講師の先生たちが、全国で活躍されているようなすごい方たちなので、本格的な音楽を教えてもらえるところ。あと、経験豊かな先輩たちから学ぶところです。普段の練習から、演奏会まで、たくさんの場面で先輩たちの動きを見て、自分も場面ごとに、どう動けばいいのかわかるようになりました。

木崎：音楽の技術はもちろんですが、あいさつや返事をしっかりするとか、目上の人には敬語を使うとか、そういう人として当たり前のことをしっかり学べることだと思います。これは普段の学校生活でも生かされているな、と感じます。

**——今後の目標はありますか？**

木崎：渋吹が40周年を迎えるという記念すべき年に団長を任せさせていただいて、プレッシャーや不安もありますが、それに見合う団長になりたいです。団員みんなで、毎週水曜日が待ち遠しいと思える渋吹を作りたいと思います。

甲斐：もっとたくさんの方に渋吹を知っていただき、ぜひコンサートに足を運んではいいです。渋吹は小・中・高校生の団体ですが、大人にも楽しめるコンサートだと思います。また、副団長として、先輩たちを見習いながら成長していきたいです。

寺尾：僕は、演奏会本番の楽器の運搬や確認、部屋のチェックなど、責任のある係を任せられているので、ミスのないよう丁寧に動いていきたいです。今年は中学3年生、来年は高校生になるので、先輩たちの負担を減らせるように、練習や本番でも率先してできることを増やしていきたいです。

中島：僕は受験のためにこれから休団しますが、受験が終わって帰ってきた時に、僕たちが作ってきた渋吹よりも、もっと楽しくて素晴らしい渋吹になっていることを期待します。



3月の定期演奏会

楽器というのは、一人一つの音しか出ないので、みんなが集まってやっと吹奏樂という一つの音楽になるんです。週に一度でも、とても貴重な経験をしていると思います。

中馬：3月26日に行われた定期演奏会は、普段あまり褒めてくださらない佐藤先生がとても褒めてくださったので、本物だったんだな、本当に良かったんだな、と思いました（笑）。子どもたちの成長を感じることができて、本当にうれしかったです。

**——渋吹40周年に向けて、皆さんの抱負を教えてください。**

佐藤：これからは、コラボレーションなどを通じて多方面で演奏したいですね。今年はBリーグ（プロバスケットボール）の試合会場でも演奏させていただく機会がありましたが、こういった活動をもっともっと広げて、たくさんの方に渋吹を知っていただきたいです。

藤井：経験豊かな講師の方が中心となって指導してくれる渋吹、ぜひ多くの子どもたちに参加してほしいと思っています。素晴らしい専門の技量を持っている先生が各パートにいるので、安心して音楽を学ぶことができます。ぜひ、多くの区民の皆さんに愛される吹奏楽団と一緒に作っていきたいです。

石井：そうですね。やはり今年多くの団員が巣立っていくので、また新しいメンバーと、新しい渋吹の第一歩を踏み出したいですね。いろいろな形で知りたいと思います。

中馬：今年度に40周年を迎えるということで、とても感慨深いものがあります。区民による、区民のための吹奏樂団として、ますます成長していきたいと思っています。

渋谷区青少年吹奏楽団の皆さんのインタビューは、5月2・9日の「渋谷隣人祭り」で放送予定。



29年度の主な活動（予定）  
サマーコンサート（6月）/ 恵比寿文化祭（10月）/ くみんの広場（11月）  
クリスマスコンサート（12月）/ 新成人を祝う会（1月）/ 定期演奏会（3月）

※詳しくは渋吹HPをご覧ください。http://shibusui.grupo.jp/

**渋谷のラジオ × 渋谷のラジオ**とは？

「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面をお届けしています。

周波数：87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能  
住所：渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876  
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | https://shiburadi.com/